

あすなろだより 8月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会
担当：1年5組、2年2組、2年6組



今月号では、夏季休業中のボランティアの報告と秋のボランティアのお知らせをします。

○西日本豪雨災害義援金募金

7/19～23 に生徒会、PTA の方、あすなろ会と一緒に募金活動を行いました。

その結果、75903 円の義援金が集まりました。集まったお金は中国新聞社を通して、日本赤十字社・広島県に送られ、被災地の支援に使われます。募金活動に参加していただきありがとうございました。

○夏休みに行われたボランティア報告

夏休みに行われたボランティア活動の感想を紹介します。

○まごころ弁当調理ボランティア（美鈴が丘公民館）

- ・「ありがとうね」や「暑さに負けないようにね」と言われて、とても嬉しかったです。また参加したいと心から思いました。
- ・食べる人を思いやる大切さを学びました。例えばレタスを食べやすい大きさに切るなどの工夫ができました。
- ・配達するときに、高齢者の方々の笑顔を見ることができてやりがいを強く感じました。学んだことをこれからいろんな場面でいかしていきたいです。
- ・お弁当を作るのにこんなに多くの素材を使うことに驚きました。
- ・高齢者のために細かいところまで配慮していて、食中毒を防止するための衛生管理の仕方を学ぶことができました。



○福祉体験バスツアーで光明学園と若草園を訪問しました。

あすなる会で、子ども園と老人ホームが一体となっている福祉施設「広島光明学園」（広島市東区）と肢体不自由児施設「若草園」（東広島市）を訪問しました。施設内を見学させていただき、職員の方からお話を伺いました。実際に、乳幼児・高齢者・障害を持つ子どもたちと交流することができ、多くのことに気付くことができました。



○生徒の感想より

- ・両親と離れて暮らすという寂しさを抱えながらも楽しんで生活できる環境をつくっている職員の方々は本当にすごいと思いました。
- ・障害を持った子供たちと話してみると私たちとなんの変りもなくむしろ私たちよりも元気で、子供たちの笑顔に元気をもらいました。
- ・肢体不自由児も私たちと同じように生活していることがよくわかりました。子供と関わる時は笑顔が大切だと身をもって体験することができました。
- ・「人を助けたい」と強く思うようになり福祉について興味をもちました。
- ・どの方もその職業に誇りを持たれており、凄いと感じたし自分もそうなりたいと思いました。高齢者一人一人への接し方が工夫されていてすごいと感じました。
- ・子供と交流して、もじもじしている子に声をかけたら一緒に遊んでくれて嬉しかったし楽しかったです。
- ・高齢者や体が不自由な人と実際に交流してみると明るくて活発に生活していることがわかった。



○「皆賀園まつり」ボランティア募集

活動内容は、子どもたちを対象にしたゲームコーナーのお手伝いなどです。かわいい子どもたちとふれあえるチャンスです。参加希望者は下の申込書を家庭科まで持ってきてください。

「皆賀園まつり」日時：10月20日（土）10：00～15：00（9時集合）

場所：広島市皆賀園（広島市佐伯区皆賀二丁目10-11）

皆賀園まつりボランティア申込書

9月7日（金）16：50締切 家庭科まで

年 組 番・名前（ ）

担任印

保護者印